

家庭教育力の強化を図ろう

～ 家庭・学校・地域がつながる活動を通して ～

豊橋市立野依小学校 P T A

1 学区及び学校の概要

本校は創立147年の歴史をもつ学校で、児童数455名、16学級の中規模校である。豊橋市の南部に位置し、ハウス園芸中心の農村地域で、周辺には田園が広がる自然豊かで静かな環境にある。古い歴史をもつ町、大戦後の入植者により開かれた町、平成になって新たに生まれた町の3町よりなる。他地域と比べて、祖父母との同居や祖父母が近くにいる家庭が多いが、他地域から移り住んできた家庭や共働きの家庭も増えている。地域のつながりが強い反面、地域になじめない家庭もある。

2 研究のねらい

本校は教育目標に「本気一かしこく なかよく たくましく一」を掲げる。自然豊かな校区の環境や地域の特色を生かした授業や学校行事を通して、人と人・地域社会との関わり大切さを体感し、子どもたちは、教育目標に向かって健やかに成長している。さらなる教育目標の実現に向けて「家庭教育力」を強化することが必要である。

そこで、同世代で組織されるP T Aが教育目標の意義に賛同したうえで、学校や地域の行事に積極的に参加し、親同士、地域のかたとのつながりを深めながらさまざまなP T A活動を展開していく。このような活動を通して、子どもの健やかな成長を思う心が保護者の間に高まり、家庭教育力を強化することにつながると考え、本テーマを設定した。

3 研究の視点

保護者が学校、親同士、地域とつながる場を設定することで、家庭教育力を高められるように、以下の視点で研究を行った。

- 学校とつながることによる生活習慣の改善
- 親同士がつながることによる安全意識の向上
- 地域とつながることによる社会性の育成

4 研究の実践

学校、親同士、地域とつながり、実践した中から一部を紹介する。

(1) 学校とつながる ～生活習慣の改善～

夜更かしなど睡眠時間の減少は、体や心にさまざまな悪影響を及ぼす。生活習慣の改善は、家庭の理解と協力が必要である。学校では、アウト電子メディア（テレビ、ビデオ、ゲーム、パソコン、インターネット、スマホなど）を実現できるように、チェックカードで取り組んでいるが、家庭の協力が十分に得られないでいた。取り組みから3年



【学校保健委員会で問題提起するP T A女性部長】

目の学校保健委員会は、電子メディアとのつきあい方について家族で作戦を話し合い、チャレンジ後さらに課題解決に向け話し合い、生活習慣の改善を図ることをねらいとし開催された。児童、先生、保護者の三者がパネルディスカッション形式で問題提起を行った。保護者代表としてPTA会長と女性部長が参加し、アウト電子メディアに関して子どもたちへの願いや家庭の協力の必要性を訴えた。学校とつながり、思いを共有し全校に発信したことで、子どもたちだけでなく保護者にも家族で協力して生活習慣を改善していこうという意識を高めることができた。

(2) 親同士がつながる ～安全意識の向上～

児童の登下校の安全を守るため、PTA当番活動として「0」のつく日に先生や地域のかたと校区の立哨場所で交通指導を行っている。当番以外でも親同士で声を掛け合い、見守り隊として活動する保護者もいる。また、登下校時は、保護者がよりよいあいさつを示すことができる機会でもある。交通指導では「元気よいあいさつ」を意識した声かけも行うことを心がけた。立哨後は、普段の様子を含めて学校にフィードバックし、指導の資料としてもらっている。

また、PTA委員で交通安全と防犯の二つの視点から通学路の定期点検を行っている。点検の結果は学校に報告し、学校とPTA委員で危険個所に看板を立てたり、横断旗を設置したりするなどの改善を図っている。親同士が安全に対して共通意識をもち、つながることで、家庭において交通安全について話題にすることが増えた。今日も学校、家庭、地域に見守られながら子どもたちは安全に登下校することができている。



【地域のかたから親子で学ぶもちつき】

(3) 地域とつながる ～社会性の育成～

子どもたちにつけたい力は学力だけではない。マナーや規律等の社会性も重要である。これは、家庭の教育によるところが大きい。近年、核家族化がすすみ教育格差があるのは否めない。幸い校区には、地域の老人のかたから学ぶ場として、昔遊びや稲作など多くのものがある。中でも「親子もちつきを楽しむ会」は、親子で地域のかたと心を通わせることができる校区の恒例行事である。PTA活動として前日準備（もち米をかす、食材の分配）や当日運営（味付け、配膳、片付け等）を校区のかたと行っている。地域とつながることで親子とも古き伝統だけでなく、マナーや規律などの社会性も学んでいる。

5 研究の考察

保護者が学校や地域とつながり、積極的にPTA活動に取り組む姿を示し続けることは、家庭の教育力を高め、ひいては子どもたちの健やかな成長につなげることができた。

6 成果と今後の課題

PTA活動で保護者が役割と責任を果たす姿は、子どもたちが健やかに成長する道標となっている。本校の保護者が学校行事やPTA活動に理解が深いのは、地域性も一因と考えられるが、これから先、世帯構成の変化や児童数減少により、PTA活動を現状維持できるとは限らない。

今後は、PTAの理念や思いを変えることなく、さらに学校、保護者、地域の三者がつながりPTA活動のよりよい変革を進めながら家庭の教育力を強化し、子どもたちの健やかな成長に寄与していきたい。